

「Online Open Campus 2021 医学科概要説明（寺内先生）」 Q&A 文字起こし

No	項目	質問	回答
1	1回目	臨床研修の場所は横浜市立大学の附属の病院に限られているのですか	臨床研修に関しては、初期研修とその後の専門研修に分かれます。初期研修は、基本的にいろいろなところ、全国どこでも可能です。ただ、その後どのような道を選ぶのか、専門研修（後期研修とも言います）の場合、もし私どもの大学に所属する、就職するということになりますと、神奈川県で大学・医療機関になることが多いのではないかと思います。
2	1回目	拝見している動画ファイルはどこかで入手可能でしょうか？	アーカイブ動画を公開しています。
3	1回目	卒業後のキャリアを海外で積みたい場合はどうすれば良いのでしょうか。	卒業後すぐ、海外に自分で活路を見出すということもありだと思えます。ただ多くの人の場合、海外に行くにしても、まず日本において、初期研修、後期研修、そして学位を取って、ある程度研究のキャリアを積んでから海外に行かれるという方が多いというように私共は理解しております。ですからその時に自分だけで卒業後のキャリアを見つけるだけでなく、所属する教室が皆さんのキャリアをサポートする、そんな風な仕組みが備わっている、こんな風に理解していただくと良いと思えます。
4	1回目	外国留学は1年生から参加できますか？	動画の中でも紹介したように、大学としての公式プログラムは、4年次のリサーチクラークシップ、5・6年次のクリニカル・リサーチシップです。しかしながら、これ以外にも皆さんが、自発的に行こうということであれば、休みを活用することで、海外に留学していただくことは可能です。
5	1回目	入学後、行事は何がありますか？	様々な行事を用意しております。covid-19の問題がなければ、入学してまもなく皆さんと集まって1泊2日でこれから医学・医療について学ぶ動機付けのための合宿をしていました。そこで新入生が繋がるということが可能でした。ただ、去年や今年のような状況ではなかなか難しいので、それに代わるものを考えています。それ以外の行事となりますと、例えば4年次の最後に、白衣授与式といったようなものを用意していますし、それ以外にもいろいろなものがあります。
6	1回目	現在授業はどのような形態で行われていますか？	covid-19の影響でface-to-faceの座学は限られています。多くのものはオンラインで受けていただきます。ただ、実習等で直接皆さんと会って指導しなければならないものは実習も用意しておりますし、ましてや、患者さんと接する病棟実習は、感染対策を十分にした上で皆さま方に直接病棟で実習していただけるという状況です。
7	1回目	内科と外科はどの時期に決定をするのですか？	これは専門性ということになると思えます。実際に、学部の授業の中では、内科も外科もそれ以外のさまざまな診療科も全て勉強していただきます。それを勉強しないと卒業もできませんし、国家試験も受けられません。実際に自分の専門性を決めるのは、初期研修が終わって、いわゆる専門研修に入る段階で決めますので、具体的に言いますと、卒業後2年目の7～8月に自分の専門性を決めることが多いのが現状だと思います。
8	1回目	貴校の研究室の詳細はどこをみるのがいいですか？	WEBサイトをご覧ください。その中で、研究室の活動、どういう研究をしているのかということがわかると思います。
9	1回目	海外留学中の単位はどうなりますか？	単位の考え方ですが、リサーチクラークシップに関しては、15週の中で、成績評価をします。皆さんを引き受ける教室の先生によって評価され、それが十分であれば単位として認められるということになります。
10	1回目	昨年度の授業はオンラインが中心だったのでしょうか？ また部活動は活動できましたでしょうか？	はい、その通りです。 部活動は、世の中の状況に応じて変えております。神奈川県においても緊急事態宣言が出されている状況では、対外的な活動は限られています。しかしながら、ルールを定めた上で、感染予防の対策を立てた上で、時間を決めて、大学の中で活動することは認めています。

No	項目	質問	回答
11	1回目	入学にはどの程度の学力が必要ですか？	私たちは、共通テスト、2次試験ということでは、筆記試験、さらには、小論文、面接を総合的に評価しています。学力という意味では、そうしたことを全部クリアして、トータルの点数ということが大事なわけですが、もう一つ忘れてはならないことは、将来、本当に自分が、医学、そして医療という分野で働きたいのか、いったい何をしたいのか、そのモチベーションがあるというのが大前提だと思います。そのうえで自分の学力、もし不足しているところがあれば、これからの時間を使ってしっかり伸ばしていただければと思います。
12	1回目	海外に留学して学べる学生数は決まっていますか？	クリニカル・クラークシップ、リサーチ・クラークシップというものがあるということを説明しました。いろいろな大学・医療機関と連携しているのですが、それぞれの定員が決まっています。ですから、それ以上の場合は、学生の英語能力、コミュニケーション能力をチェックした上で、その人数に収まるように調整させていただきます。ただ、状況によっては、例えば2名の定員に対して、3名希望があれば、医学部長の責任において交渉することは可能です。
13	1回目	留学に際しての選考は成績順でしょうか。性別や年齢も関係がございませうか。	この場合の成績というのは、例えば実際に海外に行くということに関して、英語に関する能力、コミュニケーション能力、さらには、適応力、そのあたりを総合的に勘案します。年齢や性別によって差別を受けることは全くありません。
14	1回目	医学部は遊べないと聞いたのですが、本当ですか？	遊べないということがどういうことなのか、それは人によって捉え方が違うと思います。ただ、医学部の中で勉強しなければならないことが多いのは事実です。その一方で医学部では様々な課外活動を用意しています。医学科、看護学科、大学、さらにはそれ以外の人と一緒にいろんなことを楽しむ文化系・運動系の団体が用意され、活動できる機会があります。ただ、そういった活動を本格的にされるのは、私が学生の頃は6年生くらいまでやっていたのですが、今の学生は4年生くらいで卒業される方が多いのが現状だと思います。
15	1回目	学生の中で人の体の中や血を見るのが苦手で体調を崩したり倒れてしまう人はいますか？もしいる場合は日を重ねるにつれて慣れていくものなのでしょうか。	まったくだめということであれば、本当に医学に進むのがいいのか、まず皆さま方の中で考えていただく必要があると思います。ただ、多くの医学を志す人が考えることは、そうした、血を流したり、苦しんでいる方たちをどうやって助けることができるのか、ということが第一なので、そこから考えると、最初はちょっと、という風に思われても、徐々に慣れていく方が多いと思います。
16	1回目	海外臨床実習は希望した学生全員が行くことができるのでしょうか？なにか選抜はありますか？	定員がありますので、英語能力、コミュニケーション能力、適性などを勘案しています。
17	1回目	脳神経外科を専門研修で専攻する学生は多いですか	その年によりますが、そういう方もいらっしゃいます。ただ、外科系と言っても消化器外科、心臓血管外科、それ以外にも様々な外科領域があるので、脳神経外科だけが多いというよりは、そうした外科系にまんべんなく学生が配属されています。
18	1回目	他の大学（医学部）と貴校との差や大きな特徴を教えてください！	本学医学科の定員は90名と全国の中でも一番少ないです。以前は40名や60名といった時代もありました。そのように少数の中で行っている、相手の顔が見える、それは私共も学生のことをよくわかって、プライベートなことも含めてサポートする体制ができていたというのが一番大きなポイントだと思います。
19	2回目	夏休みなどの長期休暇などはあるのでしょうか	学年によって、始まる時期、終わる時期は違いますが、だいたい、7月の中旬・下旬から8月いっぱい休みです。冬休みや春休みもありますので、そういった意味ではまとまった休みはあります。
20	2回目	医学部の部活動ではなく八景キャンパスの部活動（体育会）に加入できますか？	できるかできないかで言えばできます。ただ、授業との兼ね合いで部活動の活動時間、毎日そちらに行けるのかどうかということは、個別に考えた上で参加していただければと思います。
21	2回目	夏季、冬季等の長期休暇期間はどちらで確認出来ますでしょうか。医学部なので他学部と比べ少ないと思いますが、大体ひと月程でしょうか。	夏休みは1か月ぐらい、冬休みは2週間程度と理解していただければと思います。
22	2回目	5、6年時の臨床実習で医学生は実際の手術を見学したりしますか？	はい、その通りです。手術によっては12時間くらいかかるような手術もあるので、残念ながら、最初から最後まで見ることはできないものもありますが、それぞれの教室が、学生の状況を考慮してアレンジしています。
23	2回目	女性が勉強しやすい科、研究室はありますか？実際、女性が多い科、研究室はどこですか？	全体の中で20～30%女性の教員がいます。動画の中にもありますが、3名の女性教授がおります。実際に入学していただいて、女性が多くて、いきいきと活動している科・研究室はあります。

No	項目	質問	回答
24	2回目	今後医療の国際化が進む上で授業が一部英語になることはあると思いますか？	実際に英語で授業をしている、もしくは病棟実習において英語でプレゼンテーションをしているところもあります。ただ、全部英語にすることが本当に良いかという、考え方が分かれると思います。重要なことは、実際に海外に行くなど、周りが全て英語で話す、英語でないとコミュニケーションができないという環境を経験していただくことで、本当の意味での英語、コミュニケーションツールとしての英語を勉強していただくというのが一番良いのではないかと思います。
25	2回目	医師としてグローバルに働いていくのに一番最適な大学ですか？	全国に80強の医学部がありますので、これに対しては私共が一番であるということまで言えるかはわかりません。しかしながら、今日の動画の中でもご紹介したように、学生時代から国際感覚を養っていただくのには、良い大学ではないかと思います。しかも、海外留学先が世界的にもトップクラスにあるところから、私たちにも手が届きやすい、初めて海外で語学、そして一般的なことを勉強するのにふさわしいところもいくつか用意しているのが特徴だと思います。
26	2回目	講義で出される課題は多いですか	科目によって大きく異なると思います。皆さんが実際にどのくらい勉強の時間をつくることができるか、授業の時間の中で消化できるものを増やしたいと思っています。
27	2回目	医学部の試験はきついですか？	人によって異なると思いますが、どのくらいの間隔で試験が行われているということをお察していただくと良いと思います。特に2年生においては、受講する科目が多いので、試験数が多い2年生が一番大変という学生が多いと思います。ただ、重要なことは、将来医師、医学研究者として成長していくためにクリアしないといけない試験だと思いますし、また、同学年の皆さんが受けるものですから、キツイと言ってもそれは克服することができると思います。
28	2回目	祖父を抗がん剤で救って頂き、研究医を志しています。 30代文系出身の医学生志望にも研究医の道は開かれているのでしょうか。	もちろん Yes です。医学に関して、基礎医学、臨床医学と明確に分かれるのではなく、大学において研究マインドを持つという事は、極めて大事です。そしてそれは、適齢だから文系だから理系だからという事にこだわる事ではなく、どういう領域に自ら取り組みたいのかという強い意志を持っていただければ、私どもは常に open であります。
29	2回目	Medical Apeクラスでは主にどのようなことが学べますか。	医学英語という一般英語とは違う専門性の高い言葉がありますので、それについてしっかり勉強していただくということ、さらには文献、論文などを読んでいただくことも可能です。
30	2回目	横浜市立大学医学科で特に力を入れていること、他大学にはない特徴があれば、教えてください。	90名という少人数ですので、顔の見える教育を行っているのが一番のポイントだと思います。また、動画にもありましたように、海外留学、国際感覚をもつていただけるような、リサーチ・クラークシップ15週間、クリニカル・リサーチシップを導入しているということが挙げられると思います。
31	2回目	海外派遣では、自分の希望する大学・機関を自由に選択できますか。成績などの条件があるのでしょうか。	選択していただく際にももちろん希望は取りますが、モチベーションや、英語等のコミュニケーション能力を評価します。そのうえで実際に私共や受け入れ先の面接を経て決まるという手順になっています。成績だけで決めるのではなく、その方の英語、コミュニケーション能力、適性などを総合的に勘案しています。
32	2回目	横浜市立大学は研究には強いのでしょうか？	最近新型コロナウイルス感染症に関する本学からの発信を意識されているのかなと思います。ただ、これ以外にも例えば ipsに関する基礎的な研究だったり、免疫に関する研究などいろいろな研究に取り組んでおり、その成果を発信しています。横浜市立大学ならではの特徴を活かした研究発信というのも今後していきたいと思っておりますし、そういうことに興味がある方はぜひとも進学、入学していただければと思います。
33	2回目	1年生から研究室で医学研究に参加することはできますか？	モチベーションが高ければどうぞ参加してください。実際にそうした方々が将来研究面で素晴らしい成果を挙げた事例もあります。
34	2回目	授業は、オンラインと対面との割合はどれくらいでしょうか	もちろん新型コロナウイルス感染症が起る前は100%対面でしたが、現在は座学形式はオンライン中心、一方実習、例えば解剖実習であったり、患者さんを対象とする病棟実習は100%対面で行っています。社会の情勢によって都度変更となる可能性があります。

No	項目	質問	回答
35	2回目	留年率を教えてください。	その年によって違います。留年される方が多いのは、カリキュラムが集中せざるを得ない2年から3年の年度だと思います。10%を超えた年もありました。ただ、高学年になりますと、留年率は下がります。また、もう一つ気を付けなければいけないのは、1年次において他学部と同時に共通教養を学びますが、授業を受けない、課題レポートを提出しないと留年してしまうこともあります。1科目落としただけでも留年する場合がありますので、注意していただければと思います。
36	2回目	初期臨床研修の後に大学院に進み研究する人の割合を教えてください。	これは診療科によって大きく異なります。大学院に100%進ませるといってもある一方、ほとんど進まない診療科もあります。大学全体で見ても、後期研修医、いわゆる専攻医になられた人のうち、生涯を通じて大学院に進まれる方というのは、あくまで個人的な印象ですが、40%前後だと思います。
37	2回目	横浜市大の特徴的な授業を教えてください。	これはいろいろな授業があると思います。医学の場合には、実は重要なことは、総合的にいろいろなことを勉強することだと思います。ですから、基礎医学、社会医学、臨床医学など様々な授業を受けていただければと思います。代表的な授業ということで、今回模擬授業、がんゲノム医療について、加藤伸吾先生の授業を受けていただいた方もいるかと思いますが、それ以外にも特徴的なものを挙げますと、例えば、再生医療に関するような最新の治験を紹介するような授業は極めてアトラクティブだと思います。
38	2回目	地域枠推薦で入学ができた場合、診療科や研修先は自分で選ぶことができますか？	もちろんです。ただ、地域枠ということで、将来神奈川県に何年間かいないといけないという制約があります。このことだけを守っていただければ、診療科・研修先は選択可能です。ただ、研修先ということに関して言いますと、多くの場合、医局に所属することになりますが、医局の仲間がいる中で、自分だけが最優先して選ぶということはできないので、仲間の中で研修先を調整するといったような作業が実際には必要になってくるということだと思います。
39	2回目	授業は週何回、そして何限～何限までであることが多いのでしょうか？	授業は基本的には月曜日から金曜日までです。何限というのは1コマが60分なのか、共通教養などの少し長い90分なのかによっても違います。基本的に授業が始まる時間というのは、座学の場合は8時50分から、一方、病棟実習の場合には、早い診療科では8時や7時半のところもあると思います。そして、終了時間というのは、大体16時・17時のところが多いと思いますが、手術見学の場合にはもう少し延びる場合もあります。
40	2回目	学生と教員の距離感、キャンパスの雰囲気について教えてください。	本学は1学年90名、この方は誰なのかということを教員がしっかりわかっている、それが他大学と比べても一つ大きな特徴かと思っています。キャンパスの雰囲気ということでは、そうした学生一人ひとりの特徴、もちろん成績の優秀な方だけでなく、いろいろな問題を抱えている方、その悩みを、少なくとも教員の管理職の中では共有し、その学生がきちんと大学を卒業できるようなサポートをする、それが私たちの大学の一番のポイントだと思います。キャンパスの雰囲気は他の大学との比較というのはなかなか難しいかもしれませんが、一言でいうとほのぼのとしている大学という風に医学部長としては感じます。
41	2回目	福浦キャンパス内の雰囲気を教えてください。	学年全員の顔が見えるということで、ギスギスしているところはほとんどないと思います。ほんわりとしている。逆に少し悪く言うとのんびりしている。のんびりしていると、時として遅れてしまう事があるので、そういう時は学生を喚起して、遅れないようにしているというのが、福浦キャンパスの状況です。
42	2回目	貴学は、学生に対して、将来的に神奈川県の医療に携わってほしいというお考えでよろしいでしょうか？全国で活躍されてる方も多いと思いますが、その点についてはいかがですか？	動画の最後のほうで、神奈川県の地域医療に貢献する、それが公立大学の一つのミッションだということをお話しました。そういう考えの学生さん、そしてそれを将来に向けて通す学生さんも多いと思います。ただ、その一方で全国・世界で活躍されたいという方もいらっしゃいます。その方々を私たちは阻むことなく、むしろ後ろからしっかりとサポートする形で支援しています。ですから、その方々のモチベーション・希望に対して、私たちは常に支援するという姿勢を持っている、こういう風にご理解ください。

No	項目	質問	回答
43	2回目	今、中学生高校生がやっておくべきことはなんですか	難しい質問ですね。中学のとき、高校のとき、大学のとき、そして医師になってからやるべきことは変わってくると思います。ただ、重要なことは、それぞれの時に思いっきりやりたいことを頑張っ、いろいろ経験してみることが大事だと思います。医学にはいろいろな知識が必要です。しかしながら、私たちが対象としている人、様々なバックグラウンドの人がいます。ですから、中学生・高校生の時にぜひともお願いしたいことは、勉強に加えて、いろいろな人と会って、いろいろな人と話して、悲しんだり、楽しんだり、いろいろな経験を積んでいただくということが、将来皆さま方にとって役に立つ、そんな風に思います。
44	2回目	医学部に在籍中プライベートの時間などはどれくらいとれますか？	授業が始まる時間が、7～9時、終わる時間が夕方の16～17時、残りの時間をどう使うかということで、それを有効活用することもできます。また、土日をどうするかということもあります。プライベートの時間の使い方、友達、恋人とのデートに使う、もちろん良いです。それに加えて、クラブ活動、さらにはアルバイト、こうしたことも実際に可能です。時間の使い方は、皆さま方の創意工夫によって変わってくるという風に思います。
45	2回目	リサーチクラークシップでは自分自身が決めたテーマで研究を進められるのでしょうか？どのように研究が行われているのかを教えてください。	4年次の1学期に15週間ということの説明しました。実際にどのような研究が行われているのかということ、3年生の夏頃、学生に対して提示します。そして、各診療科、さらには外部機関で受け入れ人数枠を提示します。それに対して、学生の方で希望を出していただいて、それを調整した上で行先を決めるという状況です。
46	2回目	横浜市立大学が総合大学であるが故の、横浜市立大学医学部の強みは何かありますか？	国際総合科学部（現 国際教養学部、国際商学部、理学部）とデータサイエンス学部もあることによって、文系の方との交流のなかで、例えば経済学的な視点から医療経済を考えることもできる点は横浜市立大学の強みだと思います。ただ、残念なことに、工学部はないので、医学の発展を支えている、医と工学の連携ができない点は、横浜市立大学の弱みと言えるかもしれません。
47	2回目	英語に特化していると聞きますが、ネイティブの先生はいますか？英語だけを用いた授業はありますか？	英語を用いた授業もありますが、全部がそういうわけではありません。一部です。それは座学としての授業の場合もありますし、また、病棟実習に出ますと、患者さんのプレゼンテーションを英語でしていただく、そんな診療科もあります。
48	2回目	学内または付近に、寮（女子）はありますか？	看護師の寮はありますが、学生のための寮はありません。実際に学生の多くは、大学付近に住んで、自転車で、特に一人暮らしをされている方は通えるようなところに住んでいる場合もあります。一方、1時間から1時間半くらいでしたら、多少離れていてもそこから通われている方もいらっしゃいます。
49	2回目	仮面浪人なのですが、不利な点はないでしょうか。	実際に調書を書いていただいた際に今どういうモチベーションなのかということをお聞きます。その時にモチベーションがしっかりしていれば不利という事にはならないと思います。ただ、重要なことは医学部を受けるモチベーション、将来何になりたいのか、どういうことがしたいのかということをしっかり私たちに意思表示していただくことが大事だと思います。
50	2回目	他学部の学生との交流はありますか？	もちろんです。ただ、医学部のカリキュラムのために多少制約を受ける可能性がある、その点はご了承ください。
51	2回目	コロナ禍という制約がありますが、図書館はどの程度利用可能でしょうか。また、蔵書数も教えてください。	現在のような緊急事態宣言下ですと、やはりある程度使用を制限しないといけない、また、使用するにしても感染予防の観点からルールを定めたりしています。蔵書に関して、実際に重要なことは本として見るということに加えて、今は電子図書というものがどのくらいあるのかということが利用者にとって重要なポイントになります。福浦キャンパスの医学情報センターには、15万冊以上の図書の他に、7千冊以上の雑誌が所蔵されています。また、全キャンパス合計で1万7千冊以上の電子書籍もあります。
52	2回目	高校生の間にボランティア活動などをしておくと、入試で有利になることはありますか？	ボランティア活動はいろいろと経験してください。いろいろな人と触れることは大事です。ただ、それがあったから、入試で例えば点数が高くなるということはありません。将来医師・医学研究を志す際にこうしたボランティア経験というのが何かしら生きるという風に理解していただければと思います。

No	項目	質問	回答
53	2回目	暗記が苦手な人にとって、医学科での勉強は厳しいでしょうか。	そうですね、ある程度は暗記するというのが必要になると思います。しかしながら、暗記の背景にきちんと理解する、理解した上で覚えていただくということが本質だと思います。そして将来、皆さま方が、医師、医学研究者になったときは、そういう覚えている知識で太刀打ちできるかということ、そのときよく考えて、もしくは、誰も答えを知らないことを、自分たちで答えを作り出す、そういうマインドを持つことがより重要になります。
54	2回目	女性の医師の方へのライフイベントに対する対応などはどうなっておりますか？	これは、妊娠・出産ということにまずは尽きると思います。もちろん結婚もあると思います。対応という意味では、その方の意思を基本的に尊重するという姿勢をすべての診療科で持っています。実際にそうしたライフイベントに関して、例えば臨床研修を休まないといけないということが発生するかと思いますが、リカバリーするようなシステムというものも、例えば附属病院の中では、少ない日数から復帰するような仕組みなども用意しています。全国の大学と比べてもライフイベントに対しては、手厚い対応ができています。例えば、お子さんが小さいような状況でも、附属病院の中には保育所を設置しております。サポートする仕組みもあります。
55	2回目	横浜市立大学の強みはやっぱり国際的に医師で働いていけるところですか？	そうですね。国際的な視野を持って海外で活躍していただく、もしくは海外で活躍して、また日本に戻ってきていただき、そしてその国際的な人脈を活かして、生涯に渡って国際的に知名度の高い活動をしていただけるということが重要なポイントだと思います。そうした先輩が横浜市立大学にはたくさんいます。